

入札公告

次のとおり条件付一般競争入札に付します。

平成29年6月19日

(契約責任者) 西日本高速道路株式会社 関西支社
和歌山高速道路事務所 所長 松浦 潤治

1. 工事概要

- (1) 工事名 湯浅御坊道路 井関他1トンネル照明設備改修工事(協議合意方式・電子入札対象)
- (2) 工事場所 自) 和歌山県有田郡広川町
至) 和歌山県有田郡広川町
自) 大阪府泉佐野市
至) 大阪府泉南市
- (3) 工事内容 本工事は、湯浅御坊道路 井関トンネル及び阪和自動車道 高倉山トンネル(下り線)のトンネル照明設備の内機交換、増設、分岐接続箇所の追加、受配電設備の改造及び試験調整等一切の工事を行うものである。
- (4) 工事概算数量 井関トンネル
内機交換(入口部) 337灯
内機交換(基本部) 168灯
高倉山トンネル(下り線)
内機交換(入口部) 99灯
内機交換(基本部) 94灯
トンネル照明増設(入口部) 4灯
トンネル照明増設(基本部) 91灯
受配電設備 改造 1式
- (5) 工期 契約締結日の翌日から360日間
- (6) 本工事は資料の提出、入札等を電子入札システムで行う電子入札対象工事である。なお、電子入札によりがたい者は、契約責任者に届出を行い、紙入札方式によることができる。
- (7) 本工事は、「企業の基礎的な技術力」及び「企業の信頼性・社会性」として、企業及び配置予定技術者の能力、緊急時の施工体制、その他の技術的要素(以下「技術提案」という。)について記述した確認資料の提出を求め、入札価格とその他の技術的要素を総合的に評価した結果、以下の方法により西日本高速道路株式会社にとって最も有利な入札者を落札者とする**総合評価落札方式(協議合意付)の対象工事**である。

契約参考価格の範囲内の価格をもって申込みをした者があった場合

契約参考価格の範囲内で入札した者のうち、価格及びその他の条件が会社にとって最も有利な者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札金額によっては契約の内容に適

合した履行がなされないおそれがあると認められる場合などは、他の入札者のうち価格及びその他の条件が会社にとって最も有利な者を落札者若しくは協議対象者とする。

契約参考価格の範囲内の価格をもって申込みをした者がなかった場合

当初の入札、再度入札及び不落札後の随意契約において契約参考価格以下の価格をもって申込みをした者がなかった場合、入札者に対する指示書第18-3に基づき価格及びその他の条件が会社にとって最も有利な者を協議対象者とし、協議の上、見積条件等に合理性又は妥当性を有すると判断した場合は、協議対象者を落札者とする。

- (8) 本工事は、すべての入札参加者から工事費内訳書の提出を求める工事である。
- (9) 紙入札方式の場合(8)の工事費内訳書は原則として電磁的記録媒体(CD-R)で提出するものとする。ただし、電磁的記録媒体での提出ができない場合は、紙の工事費内訳書を提出するものとする。

2. 競争参加資格

当該工事に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件をすべて満足し、かつ、契約責任者による当該工事に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。

- (1) 西日本高速道路株式会社契約規程実施細則(平成17年細則第7号)第6条の規定に該当しない者であること。
- (2) 開札時に、平成29・30年度西日本高速道路株式会社工事一般競争(指名競争)参加資格のうち、「電気工事」の資格を有し、かつ、「等級B」に格付けされている者(会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、西日本高速道路株式会社が別に定める手続に基づく工事一般競争(指名競争)参加資格の再認定を受けていること。)
- (3) 入札公告の前年度から起算した過去2年間(平成27年度及び平成28年度)における当該工種の工事成績の平均点が2年連続で65点未満でないこと。

(4) 地理的条件

関西支社管内(滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、福井県)における建設業法の許可に基づく本店・支店・営業所を有すること。

(5) 施工実績

平成14年度以降に元請けとして完成・引渡し完了した次の同種工事の施工実績を有すること。ただし、施工実績は西日本高速道路株式会社が発注し、完成・引渡し完了した工事(旧日本道路公団が発注し、完成・引渡し完了した工事を含む。)である場合にあっては、評定点合計が65点未満のもの並びに国、地方公共団体及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(平成12年法律第127号)第2条第1項の政令で定める法人(以下「他の機関」という。)が発注した工事である場合にあっては、工事成績評定が一定の点数未満であるために他の機関の競争入札において施工実績として認めていないものを除く。なお、同種工事の項に掲げる各工事の施工実績を同一の工事において有する必要はない。(特定建設工事共同企業体及び経常建設共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。)

同種工事（下記 a）及び b）を必要とする。）

- a) 1本当たり延長100m以上での道路トンネルの照明設備について、トンネル照明灯具の設置及び試験調整を実施した工事
- b) 供用中の自動車専用道路において本線車線規制（ランプ規制、路肩規制を除く）を実施した工事

(6) 配置予定の技術者等

次に掲げる基準を満たす現場代理人、主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。

専任の主任技術者又は監理技術者が、当該工事に対応する建設業法の許可業種に係る技術資格者又はこれと同等以上の資格を有する者であること。

現場代理人、主任技術者又は監理技術者が、平成14年度以降に下記の同種工事の経験を有する者であること。ただし、施工実績の取扱いは(5)に同じ。

同種工事

道路トンネルの照明設備について、トンネル照明灯具の設置及び試験調整を実施した工事

専任の主任技術者又は監理技術者を配置する場合にあっては、入札参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。なお、恒常的雇用関係とは、確認資料提出日以前に3ヶ月以上の雇用関係にあることをいう。

監理技術者にあっては、確認資料の提出時に監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

- (7) 競争参加資格確認申請書及び確認資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の日までの期間に、「西日本高速道路株式会社指名停止等事務処理要領（平成17年要領第96号）」に基づき、「地域1」において、指名停止を受けていないこと。
- (8) 上記1.に示した工事に係る設計業務等の請負人又は当該請負人と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 警察当局から、暴力団員等が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、公共工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

3. 総合評価に関する事項

(1) 落札者の決定方法

入札参加者は、「入札価格」並びに「企業の基礎的な技術力」及び「企業の信頼性・社会性」に係る技術的要素をもって契約の申込みを行い、以下の方法により落札者を決定する。

1) 契約参考価格の範囲内の価格をもって申込みをした者があった場合

契約参考価格の範囲内で入札した者のうち、(2)総合評価の方法によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札金額によっては契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められる場合などは、他の入札者のうち価格及びその他の条件が会社にとって最も有利な者を落札者若

しくは協議対象者とする。

2) 契約参考価格の範囲内の価格をもって申込みをした者がなかった場合

当初の入札、再度入札及び不落札後の随意契約において契約参考価格以下の価格をもって申込みをした者がなかった場合、入札者に対する指示書第18-3に基づき評価値が最も高い者を協議対象者とし、協議の上、見積条件等に合理性又は妥当性を有すると判断した場合は、協議対象者を落札者とする。

(2) 総合評価の方法

1) 技術評価点の最高点を3点とする。

2) 技術評価点は、あらかじめ定めた技術評価基準に基づいて、技術提案を次の評価項目ごとに評価して得られた数値を合算することにより算出する。

イ) 企業の基礎的な技術力

企業の施工能力

・ N E X C O 東・中・西日本が発注した同種工事の過去5年間の施工実績

配置予定技術者の能力

・ 社内研修・講習会による安全管理の取り組み

・ N E X C O 西日本における同種の競争参加資格工種における過去10年間の実績

ロ) 企業の信頼性・社会性

地域精通度

・ 緊急時の施工体制

地域貢献度

・ 災害協定等

N E X C O 西日本貢献度

・ 災害時の協力・緊急時雪氷作業等の応援

3) 価格評価点は、入札価格に対する評価点数であり、審査対象基準価格と同額である価格評価基準額を100点とし、それを下回る場合は0点とする。

4) 入札価格と価格以外の技術的要素の総合評価は、入札参加者に付与された技術評価点と価格評価点を合算した評価値をもって行う。

(3) 上記(2)2)に係る評価項目の詳細、評価基準の内訳は入札説明書による。

4. 入札手続等

(1) 担当部署

西日本高速道路株式会社 関西支社 和歌山高速道路事務所 総務課 課長 亀井 清輝

〒640-8305 和歌山県和歌山市栗栖字中須1038-2

電話 073-472-2091

(2) 入札説明書、図面、仕様書等の交付期間及び方法

交付期間：平成29年6月19日(月)から平成29年6月30日(金)まで(土曜日、日曜日及び祝日(以下「休日」という。)を除く)

交付方法：入札情報公開システムより、提供する。

<https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/koukai/do/logon?name1=06E0060006400600>

当案件のダウンロードに必要なパスワードは、「171071003」である。

なお、通信環境の不具合等やむを得ない事由により、上記交付方法による入手ができない者は、上記交付期間の毎日午前10時から午後4時まで、上記4(1)の場所において入手することができる。

(3) 申請書等の提出期間、場所及び方法

提出期間：平成29年6月20日(火)から平成29年6月30日(金)までの休日を除く毎日午前10時から午後4時まで。

提出場所：上記4.(1)に同じ。

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者に紙入札の届出を行った場合は、紙により持参、郵便(書留郵便に限る。)又は託送(1)すること。

- 1 託送とは、民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便で書留郵便と同等のものをいう。以下同じ。

(4) 入札書の提出期限、場所及び入札書の提出方法

提出期限：平成29年8月3日(木)午前11時00分まで。(ただし、郵便(書留郵便に限る。)又は託送による入札については、期限までに上記4.(1)へ必着させること。)

提出場所：上記4.(1)に同じ。

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者に紙入札の届出を行った場合は、紙により持参、郵便(書留郵便に限る。)又は託送すること。

(5) 開札の日時及び場所

開札日時：平成29年8月4日(金) 午後2時00分

開札場所：上記4.(1)の第三会議室

5. その他

(1) 契約の手續において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

イ) 入札保証金 免除

ロ) 契約保証金 納付

ただし、金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

(3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4) 低入札価格調査

上記3.(1)ただし書きの目的を達するため、本工事においては審査対象基準価格を設定し、評価値が最高である者の入札価格がこれを下回る場合は、入札手続きを保留し、当該入札者を対象として低入札価格調査を行う。

- (5) 入札時に工事費内訳書の提出のない者の行った入札は無効とする。提出された工事費内訳書を審査した結果、真摯な見積りを行っていないと認められたときは、その者の行った入札を無効とする場合がある。
- (6) 入札者の故意又は重大な過失により入札書が無効となった場合は、当該入札者に対し、指名停止の措置を講じることがある。
- (7) 配置予定技術者の確認
落札者決定後、コリンス等により配置予定の主任技術者又は監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合は、契約を結ばないことがある。なお、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合の外は、確認資料の記載内容の変更は認められない。
- (8) 手続における交渉の有無 無
- (9) 契約書作成の要否 要
- (10) 当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と随意契約により締結する予定の有無 無
- (11) 関連情報を入手するための照会窓口は、上記4.(1)に同じ。
- (12) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記2.(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記4.(3)により申請書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札時において当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (13) 紙入札方式による参加を希望する場合の手続
紙入札方式による参加を希望する者は、上記4.(3)の期限までに、申請書等とともに紙入札方式参加(変更)届出書(電子入札留意事項様式1)を、上記4.(1)に示す場所に持参、郵便(書留郵便に限る。)又は託送により提出しなければならない。
- (14) 詳細は入札説明書による。

以 上